

応援します！キラリ輝く市民活動

# キラリ輝く市民活動活性化補助金

久留米市では、市民のみなさんが自発的に取り組んでいる公益的な活動のうち、地域でできる思いやり活動・安全安心活動・賑わい創造活動の三つのテーマに合う事業を応援する補助金制度を創設しました。今回は、この補助金を活用して活躍されている二つの団体の事業を紹介します。



## 事業名：「ゆにはば農園開設事業」

～地域のみなさんが集える農園を作りました～

### 5月提案事業

提案団体：NPO法人 ゆにはば市民ネットワーク

#### 連絡先

久留米大学比較文化研究所地域連携室  
電話番号：0942-43-4411（内線106）  
理事長 保坂 恵美子



## 事業名：「日向ひょっとこ踊りで笑いを届ける事業」

～地域のみなさんにコミカルでユーモラスな踊りを披露しています～

### 6月提案事業

提案団体：日向ひょっとこ踊りときめき隊

#### 連絡先

電話番号：0942-41-8778  
会長 別府 貞男

## 大学と地域が一緒に絆づくり

多 世代で“家族の絆・地域の絆”づくりを目指す「NPO法人 ゆにはば市民ネットワーク」は、府中公民館（旧御井校区コミセン）を拠点に、久留米大学の教授や学生、市民ボランティア、地域住民など約60名で構成されています。

久留米大学の学生・教員が小中学生の学習を手伝ったり一緒に遊んだりする「ゆにはば塾」や、軽運動やバンド演奏、落語などの子どもから高齢者まで参加できる幅広い交流の場「さちとびあ」などを行っています。

今回の補助金を活用して開園した「ゆにはば農園」は、食と農を通じた多世代交流を目指していて、子どもから高齢者まで地域の皆さんが集える農業体験や収穫祭、食育の場として活用されます。

最近では、ゆにはば農園に地域の人が紫陽花を植えてくれたり誰となく草取りや水やりをしてくれたりしているそうです。一人暮らしの高齢者も農園を見に来るのを楽しみにされていたり、取材時には地域の中学生在が農園の様子を見に来たりしていました。このように、地域の人々にも親しまれ徐々に輪が広がってきており、地域住民が誰でも関わる事ができる“農縁”になっています。

この事業は、将来の久留米市における地域ネットワークのよい取り組みの事例として各方面から注目を集めることになるでしょう。



「NPO法人 ゆにはば市民ネットワーク」の皆さん▲

## 世の中にたくさんの笑顔届けたい

赤 いはっぴに白い帯、白いふんどしダラりとたらし、キツネ、おかめ、そしてひょっとこが笛や太鼓に合わせてコミカルに、ユーモラスに踊る日向ひょっとこ踊り。

久留米市内で活動する「日向ひょっとこ踊りときめき隊」は、ボランティアで月3回程、地域の福祉施設、老人ホームや自治会、敬老会などのイベントで踊りを披露しています。

その他、くるめ水の祭典、高良川コスモス祭り、観月会、JA感謝祭、日向市の全国大会、八千代座などに出演しています。世の中の幸せや、豊作を願い、また商売繁盛を願って踊るひょっとこ踊りと共に世の中に笑顔が広まっていくよう活動しています。

最初は2・3名から始めたそうですが、見た人が「自分もやりたい」とみるみる仲間が増え、今では32名のメンバーで活動されています。踊りの“上手・下手”ではなく自由に踊れるため、人それぞれの個性が出ます。またお面をつけているため普段より大胆になれるそうです。

「見る人が心から笑うことで笑いの渦が広がっていく。踊っている自分たちも感動をもらい笑顔になる。もっと多くの人に笑いを届けたい」とメンバーは口をそろえてひょっとこ踊りの魅力を語ってくれました。



「日向ひょっとこ踊りときめき隊」の皆さん▲

## 市民活動団体紹介

# 志

を縁として人々をつなぐ活動をしている団体を紹介します。

久留米工業大学  
学生防犯ボランティア「輪導」



東日本大震災から一週間後、学生たち有志による募金活動をきっかけに平成23年4月に久留米工業大学学生防犯ボランティア「輪導」が発足しました。

「輪導」の由来は、リンドウ（花の名前）の花言葉「正義と共に」からきていて、「みんなで輪を作り正義へ導く」という意味があるそうです。メンバーは53名。発足から1年ほどですが、募金活動や飲酒運転撲滅キャンペーン、学内・外の清掃、小学校での防犯劇・防犯教室、障がい者施設の夏まつり企画運営、星野村の子どもキャンパスなど活動は多岐にわたっています。

代表の中村さんとメンバーの猿渡さんは、「見守り活動を地域の人と一緒にやりたい。自分たちの力で地域を活性化したい。大学を卒業後も自分たちができることを続けていきたい」と今後の継続的な活動を力強く語ってくれました。

連絡先 電話番号：0942-22-2345（内線245）  
学生サービス課 専門員 井上 和美

トゥルガック ファクトリー  
Tullugaq Factory



「明展～池町川写真展～」を年4回企画運営している

Tullugaq Factory（トゥルガックファクトリー）。展示される写真は子どもたちが

撮っています。子どもの視点で撮影された四季折々の池町川は、表情豊かで大人の撮った写真とは違った面白さがあるそうです。子どもたちの写真に魅了されたファンやリピーターも増えているそうで、次回の写真展は、晩秋から初冬にかけて【第13回 明展～池町川写真展・秋～】が予定されています。また、毎年夏休みにしている自由研究相談会でのカード作りや墨流し、モビール（動く彫刻）作り、万華鏡作りなども親子とにも楽しめると好評です。

代表の杉本さんは、「身近な池町川の自然を見る人が増え、人通りも増えれば…」という想いととも、「この活動を通して子どもも大人も参加でき、自分らしく過ごせる場を作りたい」という想いがあるそうです。子どもたちの成長を見守る杉本さん自身も楽しそうに話している姿が印象的でした。

連絡先 H P http://mushitoriami.com/  
代表 杉本 千穂

ミズサポートふくおか



ミズサポートふくおかは、筑後地区を中心に活動している行政書士と社会保険労務士の女性グループで、特に女性の権利や財産を守る活動をしています。

主な活動は、「暮らしの悩み・心配ごと無料相談会」や出張セミナーです。遺言・相続、離婚、年金、成年後見制度など幅広い相談に対応しています。

また、他の専門機関や団体等と連携しながら正しい知識や新しい情報の提供を通じ、相談者に対してワンストップサービスができることを目指しています。「相談者の明るくなった顔が見たい」とメンバー全員が願って活動されています。

【相談日】  
◆日時：毎月第1日曜日 11:00～15:00  
場所：ゆめタウン久留米  
◆日時：毎月第3水曜日 13:30～16:30  
場所：市民活動サポートセンターみんくる  
※相談は男女問わず受け付けています。

連絡先 電話番号：092-716-1202  
事務局 井口 彰子

特定非営利活動法人  
筑後地域救急医療研究会



ケガ人や急病人の命を守るために、救急の現場では救急救命士や医師などの連携が必要不可欠です。

筑後地域救急医療研究会は、救急救命士が行った救急活動の事後検証を継続的・体系的に進めるにあたり、いかに現場の救急救命士などへフィードバックすべきか検討を重ね平成21年11月に設立されました。

設立以降、①救急救命士への指示・指導助言、②救急活動の事後検証、③救急救命士への教育を3本柱として、筑後地域での研究会や、救急隊員に対する講義・訓練、症例検討会などのスキルアップを図っています。

特に本年度は、関係者に対して知識と技術の維持向上を図るための活動を行うことで、地域市民に安心して信頼される救急医療が提供できるようにしたいとのことです。今後は、地域市民対象の講演会や救急救護の講習会なども積極的に開催していくそうです。

連絡先 電話番号：0942-35-3322（内線2147）  
事務局 牛島 哲実